

～カセットボンベ・スプレー缶の取り扱いに注意しましょう～

屋内でのガス抜きは危険！

カセットボンベ・スプレー缶での火災により、負傷者が発生しています！

カセットボンベ・スプレー缶（エアゾール缶）は正しく使用しましょう！



カセットボンベ・スプレー缶製品（殺虫剤、ヘアケア製品など）は、日常頻繁に使用されていると思いますが、こういった製品には可燃性ガスが含まれており、使用方法を誤った火災が発生しているのをご存じでしょうか！？

川越市内及び川島町内においても、スプレー缶の処分作業（ガス抜き作業）中に火災となった事例が発生しています。

日常生活で使用しているカセットボンベ・スプレー缶の取扱いは、次の項目に注意して、使用するようお願いします。

～注意事項～

- 1 スプレー缶には、LP ガスなどの可燃性ガスが噴射剤として使用されている製品が多いので、**使用前に必ず製品に記載されている注意書きを確認する。**
- 2 スプレー缶やカセットボンベは、厨房機器や暖房器具付近などの高温となる場所や、**直射日光と湿気を避けて保管し、高温になる自動車の内部には置かない、厨房器具、暖房器具等の付近では使用しない。**
- 3 カセットボンベは、カセットコンロ本体に正しく装着されていることを確認してから使用する。
- 4 カセットコンロを複数並べ、その上に鉄板をのせたり、カセットボンベカバーを覆うような大きな鍋等の使用は、燃料ボンベが過熱され、破裂する危険があるので絶対に行わない。
- 5 電磁調理器具（IH）のうえで使用、保管をしない。電源が誤って入ってしまった場合、カセットボンベ等が過熱し、破裂する危険があります。
- 6 **スプレー缶やカセットボンベは、必ず使い切ってから廃棄し、やむを得ず使い切らずに廃棄する時には、火気の無い風通しの良い屋外でガスがなくなるまで噴射し、廃棄する。**

～火災事例～

- 石油ストーブのうえにスプレー缶が載っていたのに気が付かずに石油ストーブを使用したため、時間の経過とともにスプレー缶の内圧が上昇し、底板が破損しスプレー缶内の可燃性ガスが噴出、石油ストーブの火が引火したもの。
- 使用中の石油ファンヒーターの暖気吐出口前に置かれていたスプレー缶（ヘアケア製品）が過熱され、スプレー缶が膨張し、爆発した。



- 台所でアイスピックを使用し、スプレー缶に穴を開けたところ、火花が発生し、噴出した可燃性ガスに引火した。



- カセットコンロに型の合わないカセットボンベをセットし、使用していたところ、漏れていたLPガスにコンロの火が引火爆発したもの。

●室内でガス抜きをしない！

●中身を使いきる場合は、必ず、風通しがよく、火気の無い屋外で行いましょう！